

Ⅳ 「危険予知訓練（KYT）」について

「危険予知訓練（KYT）」とは、職場や作業現場に潜む危険要因とそれが引き起こす現象（事故）を、職場や作業の状況を描いたイラストなどを使って、また、現場で実際に作業をさせたり、作業してみせたりしながら、少人数で話し合い、危険のポイントや重点実施項目を確認して、行動する前に事故を防ぎ、安全を先取りする訓練を行うものです。

このトレーニングは、教職員のみならず、児童生徒に対しても有効で、学校内や登下校における事故や事件などの危険を回避する能力を育成することができます。

一般的によく用いられているのが、「4ラウンド法」と呼ばれるものです（中央労働災害防止協会）。ここでは、その「4ラウンド法」を紹介します。『ヒヤリ・ハット報告書』などで浮かび上がってきたリスクをイラスト・写真・動画などの視聴覚教材にしたり、実際に現場に行って確認するなどして、5～6人のグループを作り、トレーニングに取り組んでみてください。

「危険予知訓練（KYT）」の進め方

第1ラウンド どんな危険がひそんでいるか？

- ◇現状を把握し、危険を予知してください。
- ◇みんなで話し合っって危険要因を発見し、その要因により引き起こされる事態をできるだけ書き出しましょう。

第2ラウンド これが危険のポイントだ！

- ◇予知した危険を重点化しましょう。
- ◇重要と思われる危険と危険要因に○印を付け、特に重要なものには◎をつけて危険を招くポイントにアンダーラインを引いてください。

第3ラウンド あなたならどうする？

- ◇具体的な対策を検討しましょう。
- ◇重要と判断した危険要因について、危険が現実のものにならないように、改善策や解決策をメンバーで検討してください。

第4ラウンド 私たちはこうする！

- ◇対策を絞り込み、目標を設定しましょう。
- ◇メンバーで討議して、現実的で実効性のある対策を選び、掲示物にしたり、発表することにより情報を共有し、危険を回避しましょう。

◆このような研修を定期的 to 実施することにより、日常の生活の中に潜んでいる危険を各自で考える習慣が身につくことも期待できます。